



令和5年3月28日発行 No.7

オレンジカフェ通信

4月・5月号

春が来ました。桜や木蓮など花々が咲き誇り、心がワクワクする季節です。

先日、野球の国・地域別対抗戦「ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)」では熱戦が繰り広げられ、みごと日本が3大会ぶり3度目の優勝を飾りました。日本中が盛り上がり、満開の桜はまるで祝福しているようでしたね。選手や監督、関係者のみなさんお疲れ様でした。

さて、オレンジカフェ通信はお陰様で1周年を迎えます。これからたくさんの人に認知症やその活動を知っていただけるよう紹介します。



オレンジカフェ

「オレンジカフェ」は、認知症や介護について学び、相談できる通いの場です。興味のある人、介護者、当事者、リフレッシュしたい人、ぜひお出掛けください。

毎月第3火曜日 13:30~16:00

にこにこ甘楽 地域包括支援センター 出入り自由で、予約は必要ありません。

4月18日(火)

「コグニサイズを体験しよう！」

～頭と体を動かし、

リフレッシュしましょう～

5月16日(火)

ブックトーク「笑う門には福来る」

図書館 ら・ら・かんな

司書 三木さやかさん

オレンジサポーター

認知症について理解し、温かい目で見守る応援者を養成する認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターステップアップ講座を修了した人を町ではオレンジサポーターとし、現在51人が登録しています。



オレンジサポーター
認定バッジ



オレンジサポーター
活動Tシャツ：裏面

smile&positive!

「笑顔」と「前向き」 認知症の人の対応するときや認知症を先送りをするときにこの言葉は大切です。

オレンジサポーターの活動

認知症に関する事業や認知症の人や家族を支える活動を行います。

- ・元気アップ塾 コグニサイズ
- ・にこにこサロン コグニサイズ
- ・オレンジカフェ
- ・チームオレンジなど

コグニサイズに興味がある方は、4月のオレンジカフェに、ぜひご参加ください。



元気アップ塾
コグニサイズの様子

※コグニサイズとは、コグニッション（認知）とエクササイズ（運動）を組み合わせた造語です。

《なぜ、認知症のシンボルカラーは オレンジ なの？》

もの忘れ・認知症相談医を「オレンジドクター（2010年～）」、厚生労働省の認知症高齢者の施策を「オレンジプラン（2012年～）」、オレンジサポーターがチームを組んで認知症の方と一緒に活動する取り組みを「チームオレンジ（2019年～）」と呼んでいます。

認知症サポーター養成講座を受講した証のオレンジリング（令和3年～認知症サポーターカードになりました）もオレンジ色ですが、実は『柿色』をあらわしています。

『柿色』は江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵磁器が、世界的な名声を誇ったことから、柿右衛門の柿色のように、『オレンジ色』を認知症支援のシンボルカラーとして世界のいたるところで認められるようにと願いを込め日本から世界に発信しました。

温かさを感じさせるこの色は、「手助けします」という意味を持つと言われています。現在、アルツハイマー月間（毎年9月）では建物をオレンジ色にライトアップをしたり、オレンジ色で装飾をするなどの普及啓発が行われるようになりました。



前号は、甘楽町ホームページまたはQRコードからご確認ください♪



高齢者のよろず相談

甘楽町地域包括支援センター

67-5182（直通）

〒370-2213

甘楽町大字白倉 1395 番地 1

にこにこ甘楽内

月～金（祝日・年末年始を除く）

8:30～17:15

